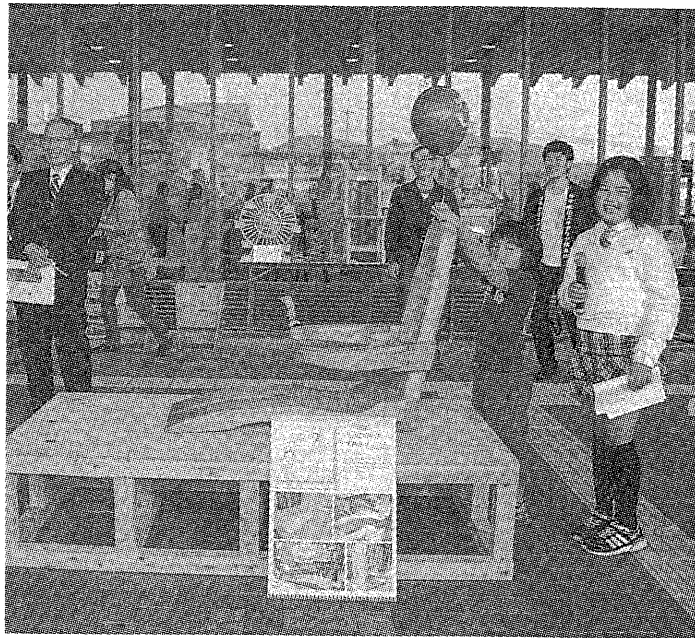


被災した子どもたちをぎゅっと抱きしめたい

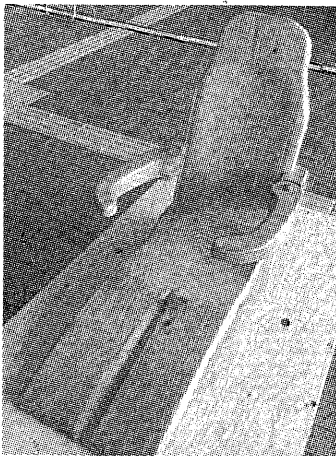
日知屋東小3 安田圭沙さん 思い込めただっここのいす

ぜひ東北の人にプロジェクト始動

子ども作品 グランプリ



プレゼンテーションでの安田さん（右端）と作品のだっここのいす＝提供写真＝



「大震災でお父さんやお母さんを亡くした子どもたちを、ぎゅっと抱きしめてあげたい」。そんな思いを込めて日向市日知屋東小3年生の安田圭沙さん

「(9)が作った「だっここのいす」を、東北の人に届けてもらおうというプロジェクトが始まった。作品は、同日向市日知屋東小3市で先月開催されたプロジェクトを立ち上げたもので、東北への費用捻出のため、広く協力を呼び掛けている。安田さんは、東日本大震災のニュースで両親と別れて避難している小学生の姿を見て、椅子に座ってお父さんやお母さんにぎゅっとだっこされて

いるイメージを浮かべながら、震災で寂しい思いをしている子どもたちが温かく、幸せな気持ちになれる椅子があったらいいのに――藤さんの話を聞いて

た杉コレクションの関係者が、これに賛同し、「だっここのいすを東北に送るプロジェクト」を結成した。

東北には保護者と一緒に関心を持ってもらう予定で、協賛の呼び掛けは、その往復旅費などのため。協賛は、個人(10万円)と企業協賛(100万円)で申し込みは、電話、ファクス、電子メールのいずれかで同プロジェクト事務局に連絡すると詳細を説明する。

電話は090・8627・1812(事務局・井上康志さん)、ファクス0982・5526993(日向土木事務所内事務局)、電子メールは(yasusha@nifty.co.jp)。

「杉コレクション」は、杉を使った作品のデザインを全国に公募し、優秀なデザインを

実物大に制作、各賞が

審査されるイベント。今年は「座」をテーマにしたデザインを募集した。

県木材需要拡大推進会議、県木材青年会連合会杉コレクション2011実行委員会の主催。2004年から毎年、県内で行っている。

また、杉コレクションで実物が製作された優秀作10作品のうち安田さんの「だっここのいす」を含む6作品が、全国から応募があったデザイン原画110点とともに、宮崎市の県立図書館1階ギャラリーで25日まで開かれている。「木つかい木材推進」特別企画展で展示されている。(安田さんは、日向市駅前広場であった最終審査会で作品に込めた思いを作文にし、発表しています。8面にその作文。)